



「久喜駅西口 中島敦の記念碑」

- ・連絡先 荒木 (☎21-5500 午前10時まで)
- ・会員数 80名 会員募集中です

久喜地区



- ・連絡先 石丸 TEL85-1387
- ・練習日 毎月第2・第4土曜日 午前9時から11時30分 (練習会場は森下公民館)
- ・会員数 12名

菖蒲地区

久喜市生涯学習だより

まなびすと久喜

平成26年1月1日 発行

第7号

編集：久喜市生涯学習推進部 発行：久喜市教育委員会

久喜市では、久喜市生涯学習推進会議を設置し、市民の生涯学習の普及・奨励に努めております。また、久喜市教育委員会では「豊かな生き方を築く生涯学習の推進」を目指して各種施策を展開しております。

はじめに、生涯学習推進のためにご活躍いただいております久喜市生涯学習推進部をはじめとする関係の皆様から感謝申し上げます。

さて、「人生に定年はない」と言われます。確かに、人生に定年はありません。老後も余生もありません。私達は死を迎えるその一瞬まで人生の現役であります。自らの人生を悔いなく生きるために、生涯学習が求められるのではないのでしょうか。

私も生涯学習の一環として、定年後、筑波大学の大学院で教育学や心理学を学びました。大学の先生方、若い院生、多くの



学びの道は限りなし

久喜市教育委員会委員長 鹿児島 金衛

書物との出会いは年齢に関係なく私に新鮮な刺激と大きな喜びを与えてくれました。心に残る授業の一つに、学校心理学の特別講義がありました。なんと、あの寅さんの三種類の援助についての考察でした。

一つは、寅さんは相手の話とことん聞く。相手の世界に染まり共感しようとする。カウンセリングの基本は、相手の話を聴くことから始まる。

二つは、味方をする。寅さんはなりふり構わず相手のために尽くすことが出来る。

三つは、自分の意見を述べる。自分の失敗談を棚に上げて、相手に説教する。寅さんの援助の源は劣等感である。劣等感が優しさになっている。という説明に「なるほど！」と納得しました。

現在の私のささやかな生き甲斐・居甲斐は、サークルで論語を学ぶこと、地元の小学校で英語を教えること、孫の習い事の運転手を務めることなどです。

久喜市生涯学習施設紹介

- ★場所 久喜市菖蒲町菖蒲 1077-1
- ★電話 0480 (85) 0370
- ★アクセス 久喜駅 (JR・東武) 西口からバス「菖蒲仲橋行」終点下車 徒歩10分
- ★利用時間 会館 8時30分～22時00分 児童 8時30分～17時00分
- ★休館 日曜日・国民の祝日(こどもの日を除く)・年末年始(12月29日～1月3日)



しようぶ会館



菖蒲地区

- ★場所 久喜市下早見 140
- ★電話 0480 (21) 1799
- ★アクセス 久喜駅 (JR・東武) 西口から徒歩約15分 久喜インターチェンジより車で約5分
- ★休館 毎月第4火曜日・年末年始(12月28日～1月4日)

久喜総合文化会館

久喜地区

文化の殿堂にふさわしい外観と多目的な機能を備えた大・小ホールのほか、プラネタリウム・広域文化展示室等からなる複合施設で、昭和62年3月9日オープンしました。市民はもとより、地域住民の皆様の「集い」「出会い」「語り」「ふれあい」の場として、愛され親しまれる教育・文化交流の拠点として大いに活用されています。

第4回生涯学習推進大会 まなびすと久喜

平成26年2月1日(土)・2日(日)

会場 鷲宮西コミュニティセンター(おおとり)・鷲宮体育センター

大会テーマ 「羽ばたこう！ 力を合わせて」
サブテーマ 「もっと知ろう わが街を」

第1日目

2月1日(土) 午後1時～4時
開会式 まちづくりフォーラム：ホール

1部 講演 「最強の市民ランナー川内優輝を育てる」
～決してあきらめない～
講師：川内美加さん

2部 座談会 「川内優輝さんを語る」
出席者：川内美加さん、岸哲夫さん、島田淳一さん、鹿毛仁子さん
司会：飯島祐紀夫さん

第2日目

2月2日(日) 午前10時～午後3時
まなびすと発表会・各イベント

ホール	「♪響け・あなたの心に！」
エントランス	「エントランスで おもてなし！」
ボランティアビューロー・2階	「まなぼう！あそぼう！親子の共学」
屋外	「食からつながろう！市民の輪・話・和」
体育センター	「歴史を学ぶ☆体験しよう！」

三箇ゆうゆうプラザ

- ①平成 23 年（3 年目）
- ②三箇小学校
- ③9 講座
- ④保護者から「ゆうゆうの人だね。有難うございます」と声をかけられ、子ども達から元気ももらい、サポーターや実施委員、地域の人達にも子ども達の成長の一端を担っているという実感が生活の潤いにつながっています。



Q 成果と課題と併せて、市民の皆さんへ一言お願いします。

A 事業の目的に、「地域の方々の参画を得て」とありますが、どれだけの方が参加してくださるか心配でした。開設してみますと、これまで地域で活動することのなかった人達の大勢の参加をいただき、子ども達の教育に関わるようになったことは大きな成果です。また、長期的に継続していくには、常に人材の確保、特に運営スタッフの確保が重要です。高学年の子どもの参加が少ない現状があり、参加意欲を高めるプログラムの開発や、活動場所の確保など課題は山積んでいます。

教室での出会いは、街で出会った時に声を掛け合えるところまで高められるのです。子どもと大人の交流を通して、保護者と地域の人達との関係づくりに発展し、新しいコミュニティの構築につながっていきます。

各ゆうゆうプラザの活動を今まで以上に発展させるためには、もっと多くの地域の方々のご支援・ご協力が必要です。皆さんの参画を待っています。お近くの小学校を覗いていただき、子どもとの楽しい遊び方を探してみませんか。お待ちしております。

Q どんな講座が開催されていますか。

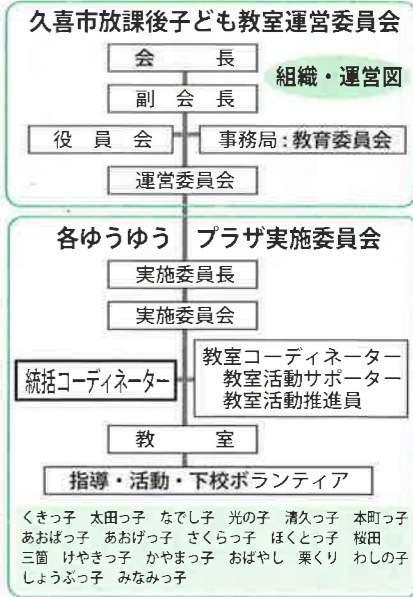
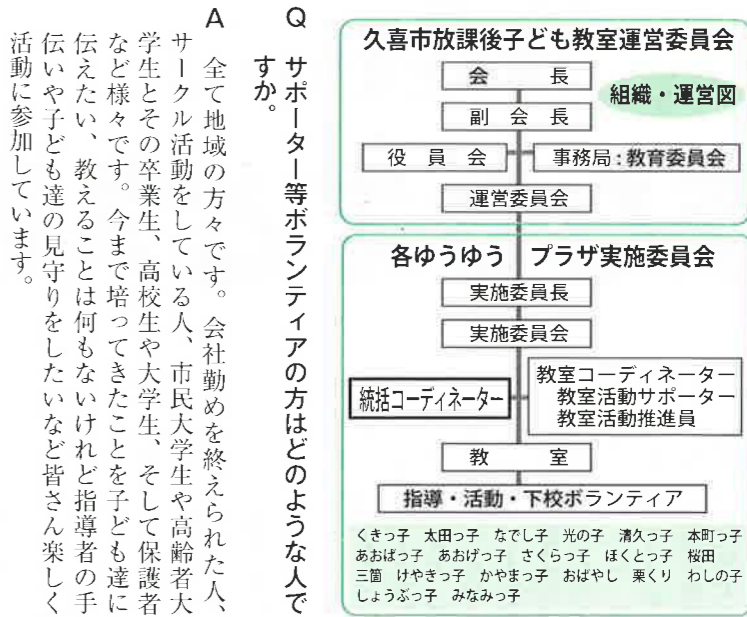
A 学習では、宿題やドリルでの復習、読み聞かせ、英語、算数、そろばん、絵画、パソコン、習字、理科実験、料理教室等です。

スポーツでは、サッカー、テニス、ドッジボール、グラウンドゴルフ、陸上、バドミントン、バスケットボール、トランポリン、卓球、バレーボール、スポーツ吹き矢等です。

文化活動では、茶道、生け花、昔の遊び、囲碁、将棋、トランプ・オセロ、編み物、手芸、日本舞踊、フラダンス、よさこいソーラン、三味線、合唱、楽器、折り紙、絵手紙等まだまだ書ききれないほどあります。

おばやしゆうゆうプラザでは、地域に根差した伝統芸能「さらさら舞いと太鼓」に4人の子どもが参加。かやまっ子ゆうゆうプラザには地元で伝わる「小塚ばやし」に8人参加しています。

その他、それぞれ特色を生かし、親子料理教室や地域参加型のグラウンドゴルフ大会など交流活動が展開されています。



組織はどのようになっていますか。

栗くりゆうゆうプラザ

- ①平成 23 年（3 年目）
- ②栗橋小学校
- ③10 講座（新たに加わった講座—手芸製品づくりや横笛を作ったの演奏・フラダンス・手話等）クリスマス・お正月特集ではアレンジメントフラワーや凧作り
- ④異年齢の友達と遊び、地域の異世代の方々との交流、「ゆうゆうのおじちゃん」と声をかけられたり、保護者からお世話になっていると挨拶されたりコミュニケーションのベースが確立されてきています。



放課後子ども教室「ゆうゆうプラザ」を知ろう！育てよう！

「ゆうゆうプラザ」の活動を多くの方に知っていただき、地域の宝物である子ども達を共に育てていこうではありませんか。そこで、久喜市放課後子ども教室運営委員会会長 飯島祐紀夫氏にお話を伺いました。

「ゆうゆうプラザ」名称の由来は、子ども達が様々な活動に親しみ友達と思いっきり遊んでほしいとの願いが込められているそうです。

平成 17 年、子ども達が安全・安心な活動場所（校庭・体育館・余裕教室）で様々な体験活動や子ども同士・地域の大人との交流を通して、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれることを目的とし、久喜小学校に「くきっ子ゆうゆうプラザ」を設立したのが始まりだそうです。現在は、23 校中 19 校で活動しているそうです。今回と次回 2 回にわたり「ゆうゆうプラザ」の活動を紹介します。

問合せ 生涯学習課 ☎ 0480-85-1111 内線 361

- ① 開設した年
- ② 拠点小学校（活動場所）
- ③ 講座（活動日・活動回数・主な講座）等
- ④ 感想等

桜田ゆうゆうプラザ

- ①平成 22 年（4 年目）
- ②桜田小学校
- ③毎週月曜日 10 ブロック 19 講座、夏と冬（土曜日）にグラウンドゴルフ、親子クッキング
- ④現在は、開設時の右往左往は嘘のように余裕ができ、実施委員全員の開講前と終了時のミーティングは時間を費やしても実施、共通理解を図っています。



あおげっ子ゆうゆうプラザ

- ①平成 21 年（5 年目）
- ②青毛小学校
- ③23 講座約 170 名の子ども達が参加
- ④地域指導者の声「保護者・地域・学校が一体となり、今の子ども達に求められているコミュニケーション能力が、多くの人と接することで、個性豊かな人として育まれるものと信じています。そして子ども達からも多くのパワーをもらいながら、ゆうゆうを楽しんでいます。」



なでし子ゆうゆうプラザ

- ①平成 20 年（6 年目）
- ②江面第一小学校
- ③月 3 回の月曜日、月 1 回の土曜日（男子には球技などの体を思いっきり動かす講座、女子には可愛いものを作製する講座が人気。土曜日に行う理科実験や料理講座は男女ともに大人気）
- ④今後も地域や保護者の協力をいただき、子ども達の安全・安心な遊び場、地域と子ども達のふれあいの場としての活動を続けていきたい。



太田っ子ゆうゆうプラザ

- ①平成 21 年（5 年目）
- ②太田小学校
- ③スローガン「チャレンジ」を掲げ、27 講座で、新規講座も積極採用。イベント「アウトドアゲーム大会」「鏡もちをつくろう！」もあり。
- ④子ども達は勿論のこと、保護者、地域の方々にもやりがい・生きがいを感じてもらえるような環境づくりに励み、「楽しくなければゆうゆうじゃない」と笑顔一杯、一致団結して活動しています。

